

- 問1 北海道函館市に位置し、大砲による攻撃への死角をなくするために西洋の築城技術を採用入れて築かれた星型の城郭があります。この城郭が、戊辰戦争の最終局面において旧幕府軍の拠点となった戦いを何といいますか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 鳥羽・伏見の戦い 2. 西南戦争 3. 会津戦争 4. 箱館戦争
- 問2 1871年に派遣された岩倉使節団が、欧米諸国を訪れた本来の目的と、その後の活動内容についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けた準備とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること。 2. ロシアの南下政策に対抗するため、イギリスやフランスとの軍事同盟の締結を最優先すること。 3. 鎖国を継続するために、欧米諸国に対して開国を拒否する旨の親書を届けること。 4. 欧米諸国の植民地支配の仕組みを学び、アジア諸国へ進出するための軍事拠点を視察すること。
- 問3 明治時代、欧米の文化や技術が積極的に導入された「文明開化」の象徴として、1872年に日本で最初の鉄道が開通しました。このとき、線路が敷設された区間の組み合わせとして正しいものを、次の記述から選んでください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 上野と熊谷の間 2. 新橋と横浜の間 3. 京都と神戸の間 4. 日本橋と浦賀の間
- 問4 明治政府が財政を安定させるために行った地租改正の内容として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 土地の耕作者に地券を発行して所有権を認め、収穫高の3%を税として現金で納めさせた。 2. 土地の所有者に地券を発行して所有権を認め、地価の3%を税として現金で納めさせた。 3. 土地の所有者に地券を発行して所有権を認め、地価の3%を税として米で納めさせた。 4. すべての小作人に土地を分け与えて地券を発行し、売上の3%を税として現金で納めさせた。
- 問5 明治政府は、西洋の進んだ技術を取り入れて国力を高める「殖産興業」の政策を推進しました。その象徴的な出来事として、1872年に日本で最初の鉄道が東京の新橋との間で開通した都市はどこですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 長崎 2. 神戸 3. 新潟 4. 横浜
- 問6 明治維新の過程において、1866年の薩長同盟を経て新政府が成立したのち、政府は中央集権化を進めるために土地と人民を天皇に返還させました。この際、それまでの藩主は新たにどのような役職に任命されましたか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 鎮守府將軍 2. 太政大臣 3. 知藩事 4. 県知事
- 問7 イギリスなどの諸国では民間資本の蓄積によって自然発生的に産業革命が進展しましたが、明治時代の日本においては、欧米列強に対抗するために政府が主導して近代産業を育成し、軍事力を強化する方針がとられました。このように、日本における産業革命の直接的なきっかけとなった、国力を蓄え軍隊を強くすることを目指した一連の政策を何といいますか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 土農工商・地租改正政策 2. 文明開化・版籍奉還政策 3. 富国強兵・殖産興業政策 4. ニューディール政策
- 問8 1868年から翌年にかけて日本国内で展開された戊辰戦争の経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天皇から政治の権限を返された徳川慶喜が、再び政権を握るために諸外国の軍隊を呼び寄せた。 2. ベリーの来航をきっかけとして、全国の諸藩が協力して江戸幕府を倒すために軍を動かしした。 3. 鳥羽・伏見の戦いで始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、翌年に旧幕府軍の敗北で終結した。 4. 鹿児島県の士族を中心とした勢力が、徴兵制に反対して新政府軍に対して大規模な反乱を起こした。
- 問9 明治維新後の教育制度の整備に関連して、岩倉使節団に同行した女子留学生の一人である津田梅子の活動について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日露戦争の際に「君死にたまふことなかれ」という詩を発表し、反戦を訴えた。 2. 女性の地位向上のために雑誌『青鞥』を発刊し、平塚らいてうらと運動を進めた。 3. 英語教育を通じて女性の自立を促すため、私立の女子英学塾を設立した。 4. 『たけくらべ』などの小説を執筆し、日本近代文学における女性作家の先駆けとなった。
- 問10 1873年（明治6年）から実施された地租改正において、税額を算出する基準と納税の方法はどのように定められましたか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. その年の収穫量を基準とし、現金で納める方式 2. 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式 3. 土地の価格（地価）を基準とし、米で納める方式 4. その年の収穫量を基準とし、米で納める方式
- 問11 明治維新の初期に行われた政治改革の年表において、1869年の「版籍奉還」に続き、1871年には藩を廃止して県を置く大規模な改革が実施されました。この一連の改革によって、地方の統治権を天皇を中心とする政府に統合した政治体制を何と呼びますか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 封建体制 2. 中央集権体制 3. 地方分権体制 4. 幕藩体制
- 問12 明治政府が実施した地租改正において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として正しい説明を選んでください。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 2. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 3. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。 4. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。
- 問13 明治維新後の新政府において、1868年から翌年にかけて兵庫運上所（現在の神戸税関）の長官を務めた経歴を持ち、その後1885年に内閣制度が確立された際、初代内閣総理大臣に就任した政治家は誰ですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 大久保利通 2. 福沢諭吉 3. 伊藤博文 4. 板垣退助
- 問14 1871年に明治政府が欧米へ派遣した、当時の新聞記事において「右大臣を大使とする大規模な使節団」と報じられた使節団の名称と、その特命全権大使を務めた人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 遣欧使節団 ― 福沢諭吉 2. 征韓使節団 ― 西郷隆盛 3. 欧米視察団 ― 伊藤博文 4. 岩倉使節団 ― 岩倉具視

答え合わせ・解説

問1	答え 4 箱館戦争	江戸時代末期に完成した五稜郭は、その名の通り星型の形状をした城郭です。1868年に始まった一連の戊辰戦争の最後を締めくくる戦いである箱館戦争において、榎本武揚ら旧幕府軍がこの場所を拠点として新政府軍に抵抗しましたが、1869年に降伏しました。これにより明治政府による国内統一が完成しました。
問2	答え 1 江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けた準備とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること。	明治政府にとって、領事裁判権の容認や関税自主権の欠如といった不平等条約を改正することは、近代国家としての地位を確立するための最優先課題でした。当初は条約改正の交渉を主な目的として出発しましたが、欧米の国力や法制度の差を目の当たりにしたことで、まずは国内の近代化を急ぐ必要があると痛感し、各地の制度や産業の視察に重きを置くようになりました。
問3	答え 2 新橋と横浜の間	明治政府は近代化を推し進めるため、イギリスから技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年、現在の東京都にある新橋と、貿易の拠点であった神奈川県横浜を結ぶ区間に日本で最初の鉄道が開通しました。当時の蒸気機関車は、人々に文明開化の到来を強く印象付けることとなりました。
問4	答え 2 土地の所有者に地券を発行して所有権を認め、地価の3%を税として現金で納めさせた。	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。この改革では、土地の所有者に「地券」を交付して所有権を明確に認めた上で、収穫高ではなく「地価（土地の価格）」を基準にし、さらに米ではなく「現金」で納税させる仕組みを整えました。これにより、農作物の豊凶に関わらず政府は一定の税収を得ることが可能になりました。
問5	答え 4 横浜	明治政府は近代化を急ぐため、イギリスの技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年（明治5年）に新橋・横浜間で日本初の鉄道が営業を開始したことは、人々の生活や意識が西洋風に変化する「文明開化」を象徴する出来事となりました。横浜は当時、海外への玄関口となる開港場として重要な役割を担っていました。
問6	答え 3 知藩事	版籍奉還が行われた際、旧藩主たちはその地位を直ちに失ったわけではなく、政府から「知藩事」という役職に任命されました。これにより、藩主は従来の世襲による支配者ではなく、政府の官吏として藩の統治を行う形をとりました。しかし、この仕組みでは中央集権化が不十分であったため、1871年に藩そのものを廃止して県を置く廃藩置県が断行されることになりました。
問7	答え 3 富国強兵・殖産興業政策	明治政府は、欧米列強による植民地化の脅威に対抗し、日本を近代的な中央集権国家にするために「富国強兵」をスローガンに掲げました。その具体的な手段として、鉄道の敷設や通信網の整備、富岡製糸場に代表される官営模範工場の設立などを行い、資本主義の育成を図る「殖産興業」を推進しました。こうした政府主導の強力な介入が、日本における産業革命を短期間で達成させる原動力となりました。
問8	答え 3 鳥羽・伏見の戦いで始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、翌年に旧幕府軍の敗北で終結した。	戊辰戦争は、京都での鳥羽・伏見の戦いを皮切りに、北陸、東北、そして北海道へと戦地が移り変わっていききました。この戦争を通じて、薩摩藩・長州藩を中心とする新政府軍が、旧幕府軍やそれに同調する諸藩を制圧し、明治維新を推し進める基盤を固めました。選択肢にある「鹿児島県の土族による反乱」は、明治時代中期に起こった西南戦争の説明です。
問9	答え 3 英語教育を通じて女性の自立を促すため、私立の女子英学塾を設立した。	津田梅子はアメリカ留学で得た知識や経験を活かし、当時の日本では遅れていた女子の専門教育に尽力しました。特に英語教育を重視したのは、女性が国際的な視野を持ち、社会で自立することを目指したためです。他の選択肢にある雑誌『青鞥』は平塚らいてう、反戦詩は与謝野晶子、近代文学は樋口一葉の業績であり、時代背景や活動分野が異なります。
問10	答え 2 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式	明治政府は近代国家の運営資金を確保するため、従来の年貢制度を根本から改めました。土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、収穫量ではなく土地そのものの価値である「地価」を課税基準とし、その3%（のちに2.5%）を現金で納めさせる仕組みを整えました。
問11	答え 2 中央集権体制	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するため、それまで各藩の領主（大名）が持っていた統治権を中央政府に集約する必要がありました。1871年の廃藩置県により、全国の土地と人民を政府が直接支配する仕組みが整い、中央集権体制が確立されました。
問12	答え 1 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。	明治政府は、天候や作柄によって税収が変動する不安定な状況を解消し、国家予算を安定させる必要がありました。そのため、土地の価値（地価）を基準に税額を固定し、さらに市場価格の影響を受けないよう、米による物納ではなく現金で納めさせる仕組みを整えました。この際、土地の所有権を認める「地券」が発行され、納税義務者は耕作人ではなく土地の所有者と定められました。
問13	答え 3 伊藤博文	幕末に長州藩士として活動し、イギリス留学を経て国際的な感覚を身につけた人物です。明治新政府では、開港地である神戸で兵庫運上所（税関）のトップを務めるなど、外交や実務の経験を積みました。その後、岩倉使節団の一員として欧米を視察し、帰国後はドイツ（プロイセン）の憲法を参考に大日本帝国憲法の起草に尽力しました。1885年には最高行政機関である内閣を組織し、初代の内閣総理大臣に就任しています。
問14	答え 4 岩倉使節団 ― 岩倉具視	明治政府は1871年、廃藩置県によって国内体制を整えた後、直ちに大規模な使節団を欧米へ派遣しました。この使節団の中心となったのは、当時の政府の要職である右大臣を務めていた岩倉具視です。これには木戸孝允や大久保利通といった政府の重要人物も多数同行し、約1年10ヶ月にわたって諸国を巡りました。選択肢にある西郷隆盛や板垣退助などは、使節団の留守中に国内の政治を担う「留守政府」として日本に残っていました。